



森林と林業

- 1 大阪の森林の分布
- 2 大阪府の森林・林業施策体系
- 3 大阪の森林・林業の概要
- 4 大阪の森林・林業・木材産業統計一覧
- 5 大阪の森林・林業の現状
- 6 大阪の木材産業の現状
- 7 地域の森林・林業の概要

11月

は、山に親しむ推進月間
第2土曜は、おおさか山の日

1 大阪の森林の分布



2 大阪府の森林・林業施策体系

- 大阪府の森林・林業施策は、「大阪府新農林水産業振興ビジョン」(平成 13 年度策定)で策定した「森林プラン」に基づき推進しています。
- この森林プランは、「森林バイオマス利用推進行動計画」と「森づくり推進ガイドライン」を両輪とし、資源循環を基調とした森林管理や森林資源の有効利用とともに府民との協働による森づくりを目指します。

大阪府新農林水産業振興ビジョン

大阪府森林プラン

森林バイオマス 利用推進行動計画

連携

森づくり推進 ガイドライン

【目的】

■循環型社会の構築に向け、木質バイオマス資源等の活用を推進し、森の資源を都会に活かす「森林バイオマス利用先進都市」を目指す。

【展開方向】

1 森と木にふれあう暮らしの創造

- 木材利用による健康的な生活空間の創造
- 顔の見える木材による森づくり推進
- 公共部門等における木材利用の推進
- 炭を活用した安心・快適な生活環境の提供



木製治山ダム

2 森林バイオマス産業の創出

- 木質ペレットを中心としたエネルギー利用
- 産学民官協同による新産業の創出
- 資源のカスケード（多段階）利用の推進
- 森のコミュニティビジネスの育成



木質ペレット

3 都市の健康を育む森づくり

- 府民の安全・安心を確保する森づくり
- 里山林の元気回復
- 健康づくりの場としての里山林等の利用



手入れの行き届いた健全な人工林

【目的】

■ガイドラインに示す仕組みに基づき、多様な主体による多様な森づくりを府民と協働で実施する。

【仕組み】

森づくりサポート協議会

【各事務所が事務局】

- 構成：府・市町村・地元代表・林業団体等
- 森づくり活動を施策・技術・人材面から支援

連携
・
支援

森づくり委員会(活動団体)

- ボランティア団体・NPO・企業・行政等で構成し、整備目標に基づき活動する団体（平成18年3月末現在17団体）



森づくり委員会の里山整備

【展開方向】

- 森づくり委員会による森づくり活動の推進
- おおさが「山の日」・「山に親しむ推進月間」の推進
- アドプトフォレスト制度の推進 等

【効果】

- 森林の多面的機能の発揮
- 地球温暖化防止
- 府民協働による森づくり活動の拡大
- 森林整備を通じた木材利用推進 等

森林プランについて

I 大阪府森林バイオマス利用推進行動計画の取組み事例

◆公共部門等における木材の利用推進

○庁内に10部局15室課からなる木材利用促進庁内連絡会を設置し、連絡会で策定した「大阪府木材利用推進指針」に基づき、関係部局に対し、公共事業での木材の利用を働きかけています。

■平成17年度実績：

木材目標量 1,700 m³ → 実績 1,646 m³
チップ目標量 7,000 m³ → 実績 7,554 m³



府内産木材使用の木製谷止工(高槻市杉生)



自然公園の木道(四條畷市むろいけ園地)

◆木質ペレットを中心としたエネルギー利用

○大阪府森林組合では、間伐材等を有効に活用するため、木材の資源化を行っています。
○木材破砕機(タブ・グラインダー)で破砕された木材は、木質チップとして法面のマルチング材、燃料等に、また、ペレットはストーブや温泉のボイラー燃料として、利用されています。



木材破砕機(タブ・グラインダー)



木質ペレット

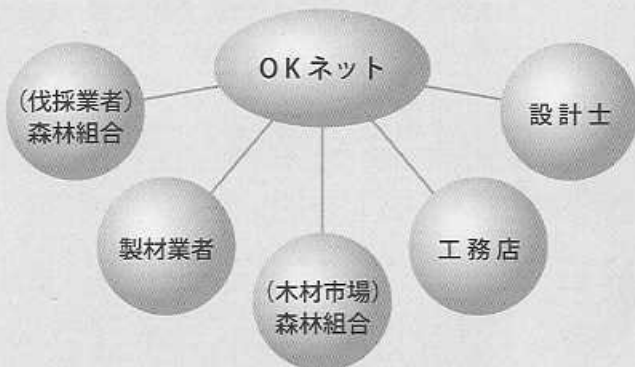


ペレットストーブ

◆顔の見える木材による森づくりの推進

○平成17年6月に大阪の山の再生、林業の振興、地元材や自然素材を使った安全安心な家づくりを進めるため、森林組合・設計士・工務店等が集まり『おおさか河内材利用推進ネットワーク協議会(OKネット)』を設立しました。

OKネットの構成メンバー



おおさか河内材の家

II 大阪府森づくり推進ガイドラインの取り組み事例

◆森づくりサポート協議会と森づくり委員会

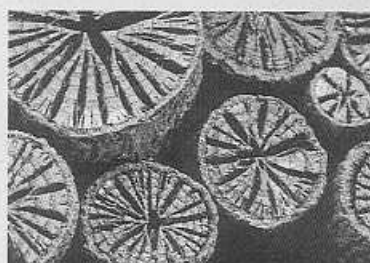
- 森づくり委員会では、貴重な環境資源である森林を有効に活用し、その多面的機能を発揮させながら適切に保全整備・管理を行っていくため、林業者、森林所有者のみならず、地域住民、都市住民、教育関係者、企業、行政などの多様な主体で構成され、地区・集落ごとの森づくりや情報発信等を行っています。
- また、森づくりサポート協議会では、府内5つの地区（各事務所・分室単位）ごとに自然環境や地域社会の特色を活かした森づくりの推進を議論しながら、地区内の森づくり委員会がより活発に活動ができるよう支援しています。
- 現在、府内で5つの森づくりサポート協議会と17の森づくり委員会があります。（平成18年4月現在）。



多様な主体による森づくり委員会



府民協働の森づくり



復興が期待される「池田炭」

◆府民と協働の森づくり

「山に親しむ推進月間」とおおさか「山の日」

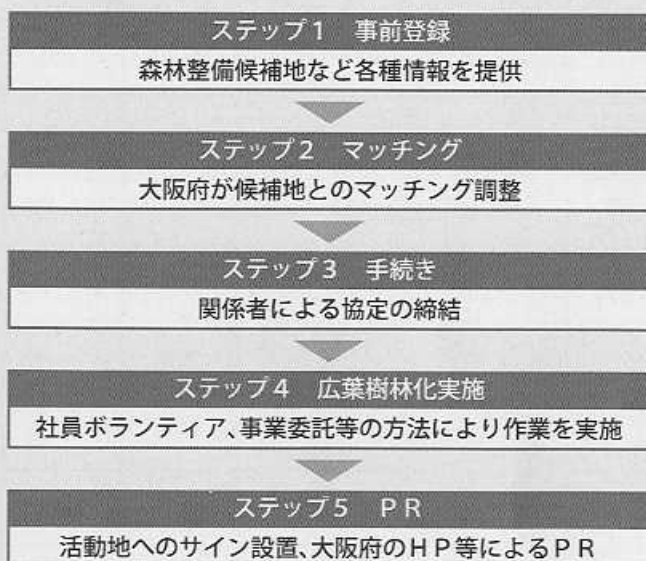
- 府民が森づくりに関わるきっかけを増やし、森づくり推進ガイドラインに基づく府民協働の森づくりをより活発にするため、平成17年度より11月を「山に親しむ推進月間」、同月第2土曜日をおおさか「山の日」と制定しました。
- 「山に親しむ推進月間」中は、関係団体の協力により、山で楽しみ、森林の機能を学び、環境を守り育てる契機となるイベント等を府内各地で開催しています。



おおさか「山の日」フェスティバル in 二上山(平成17年度)

◆企業参加の森づくり(アドプトフォレスト制度)

- 地球温暖化防止や生物の多様性確保に貢献するため、森づくりに参加したい企業等と、手入れが行き届かず放置された人工林や竹林を大阪府が仲介して結び付け、環境林化する制度です。
- 本制度により森林の整備を行った企業等には、府温暖化防止条例に基づく温暖化対策計画において、整備した森林による二酸化炭素吸収量を、削減対策の一つとして評価します。



企業の森づくり(岸和田市・神於山)



放置森林の整備活動

3 大阪の森林・林業の概要

■ 大阪府の森林の概要

- 大阪府の森林は、府域の約3割を占め、北から北摂、金剛生駒、紀泉葛城の三山系からなり、高度な都市化が進んだ大阪平野を取り巻く形で位置している。
- 林野率は、全国の67%に比べ31%と全国最低ではあるものの、人工林率は49%と、全国平均の41%を上回っている。
- 森林の98%を民有林が占め、その内の約9割が私有林である。
- 人工林蓄積は、奈良吉野林業の流れを汲み、約300年もの伝統に培われた河内林業地帯を擁する南河内、泉州東部地域で約7割(4,828千m³)を占めている。
- 南河内、泉州東部地域以外の地域は、アカマツ、クヌギ、コナラ等が多く、全般的に人工林率は低い。

4 大阪の森林・林業・木材産業統計一覧

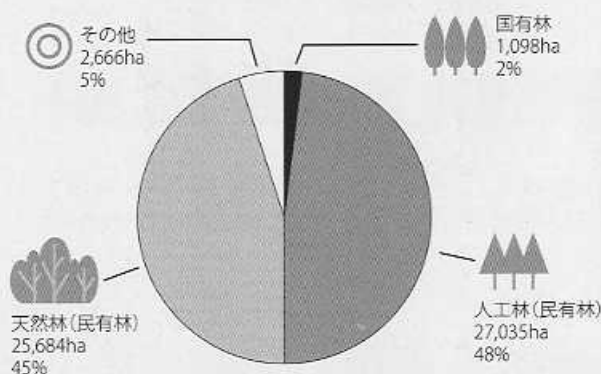
区分		単位	数量	データ年度	区分		単位	数量	データ年度
林野率 <small>(地域森林計画対象民有林+国有林+その他) × 100 土地面積</small>	%	31	H17	生しいたけ年間生産量		t	281	H17	
				乾しいたけ年間生産量		t	2	H17	
府民1人当たり森林面積		m ²	64	H17	素材需要量	合計	千m ³	49	H16
森林面積	合計	ha	56,483	H17		国産材	千m ³	8	H16
	地域森林計画対象民有林	ha	55,385	H17		外材	千m ³	41	H16
	国有林	ha	1,098	H17	外材率		%	84	H16
民有林蓄積	合計	千m ³	7,515	H17	素材生産量	合計	千m ³	22	H16
	人工林蓄積	千m ³	4,828	H17		製材用素材	千m ³	4	H16
	天然林蓄積	千m ³	2,687	H17		チップ用素材	千m ³	18	H16
人工林面積		ha	27,035	H17	新設住宅着工戸数		戸	42,498	H16
人工林率		%	49	H17	木造住宅戸数		戸	26,489	H16
保安林率		%	28	H17	木造率		%	63	H16
林道密度(自動車道)		m/ha	4.8	H17	製材等工場数	合計	工場	92	H16
林業産出額		千円	580,000	H16		製材工場数	工場	73	H16
林家数		戸	10,540	H12		合単板工場数	工場	19	H16
くりの年間生産量		t	203	H17	木材流通関係事業所数		箇所	1,099	H13

5 大阪府の森林・林業の現状

1 森林面積 (府みどり・都市環境室調べ)

- 地域森林計画対象民有林と国有林が府域に占める割合は、30%
- 人工林率は49%と全国の41%を上回る

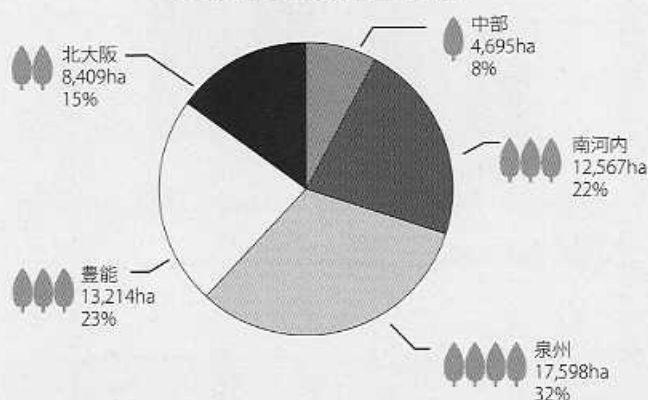
森林面積(平成17年度)
56,483ha



2 地域別森林面積 (府みどり・都市環境室調べ)

- 南河内、泉州地域で森林の約5割を占める

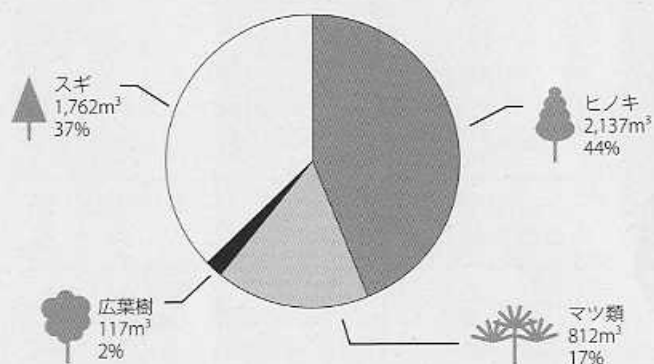
地域別の森林面積内訳(平成17年度)
森林面積計 56,483ha
(地域森林計画対象民有林+国有林)



3 人工林樹種別蓄積 (府みどり・都市環境室調べ)

- ヒノキ(44%)、スギ(37%)で人工林蓄積の約8割を占める

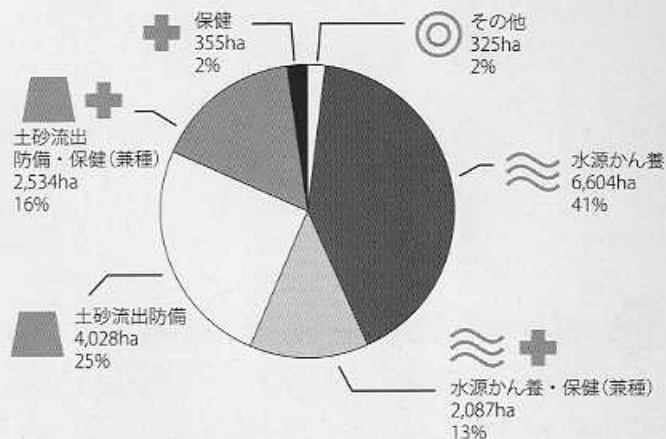
人工林の樹種別蓄積(平成17年度)
4,828千m³



4 保安林種類別指定面積 (府みどり・都市環境室調べ)

- 保安林指定面積は約1万6千haで、府内森林面積の約1/4を占める
- 水源かん養保安林と土砂流出防備保安林が、保安林面積の約7割を占める

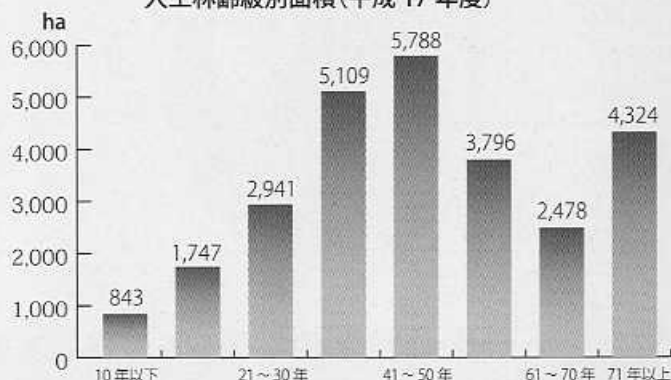
保安林の内訳(平成17年度)
15,933ha



5 人工林齢級別面積 (府みどり・都市環境室調べ)

- 7~10 齢級(31年~50年生)の林分が人工林の約4割を占める
- 間伐対象齢級3~7(11年~35年生) 齢級の林分が約7千haで人工林の約3割

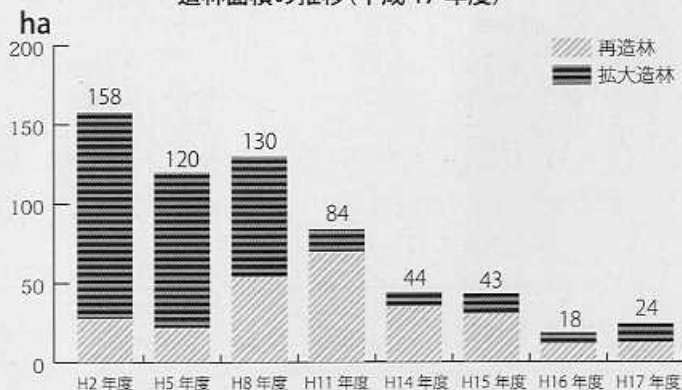
人工林齢級別面積(平成17年度)



6 造林面積の推移 (府みどり・都市環境室調べ)

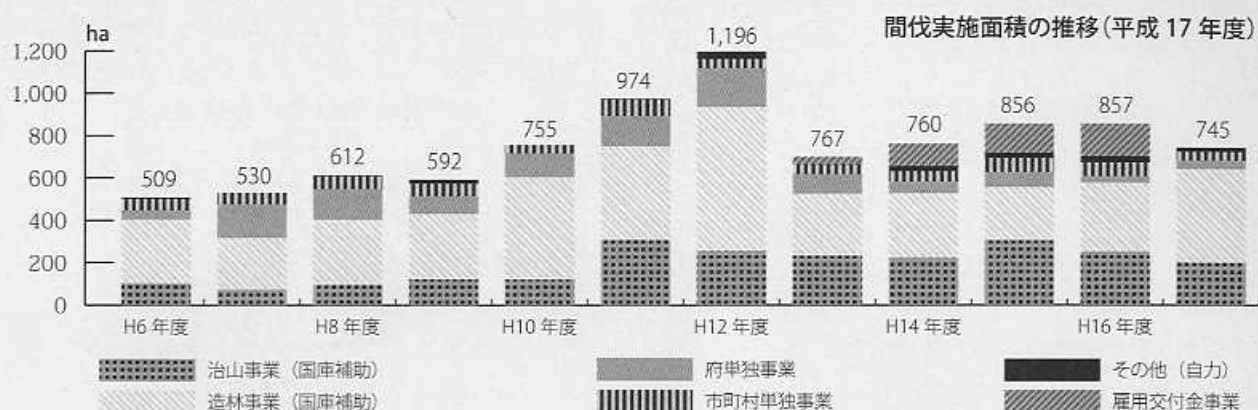
- 近年の造林面積は、平成2年度の拡大造林主体の約160haをピークに減少傾向で推移し、平成17年度は24haと大幅に減少

造林面積の推移(平成17年度)



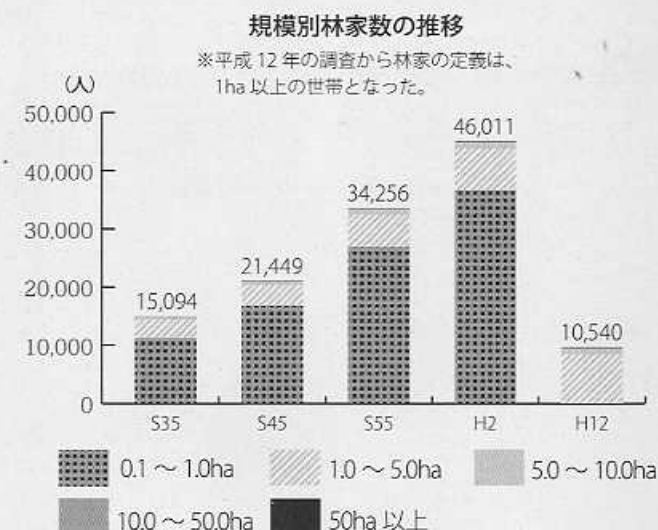
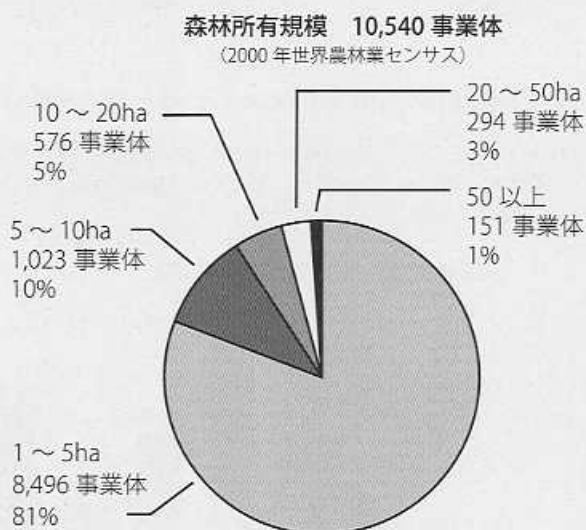
7 間伐実施面積の推移 (府みどり・都市環境室調べ)

○平成12年度をピークに平成13年度以降は、800ha前後で推移 ○年間に間伐を必要とする面積に対する実施率は7割程度



8 保有山林規模別林家数の推移 (各年世界農林業センサス)

○他府県山林保有を含む林家数は、昭和55年から平成12年までの20年間で42%増加し、林地保有の細分化が進展



9 大阪府森林組合の概要 (平成18年4月現在)

■沿革

- 平成13年10月19日 府内16森林組合が合併し、府内全域を組合の地区とする大阪府森林組合が設立
- 平成14年2月1日 大阪府森林組合が大阪府森林組合連合会の権利義務を継承

■組織

【本店】大阪府中央区馬場町(大阪府農林会館内)

【支店】豊能支店(能勢町)、三島支店(高槻市)、南河内支店(河内長野市)、泉州支店(和泉市)

【その他】市町村を単位に選出された地区推進委員による地区推進協議会を設置

【運営施設】

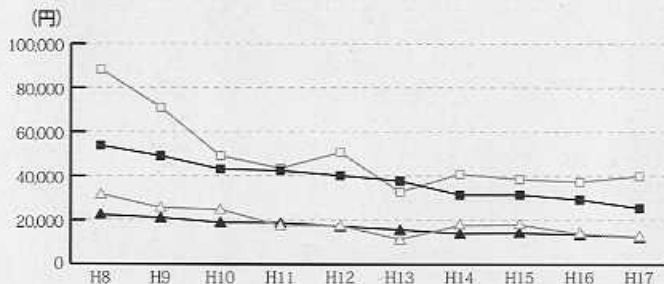
- 能勢事業所、能勢木材加工センター(以上、能勢町)
- 高槻事業所、高槻木材加工センター、森林資源加工センター、高槻森林観光センター(以上、高槻市)
- 河内長野事業所、ウッドベースかわちながの、河内長野市立林業総合センター(以上、河内長野市)
- ラ・フォレスト(南河内林業総合センター)、木材共販所、南河内樹木リサイクルセンター(以上、千早赤阪村)

区分	組合員(人)	役員(人)	出資金(千円)	組合員経営森林面積(ha)	作業班員(人)	常勤職員(人)
大阪府森林組合	7,054 (准組合員含で7,124)	18 (内常勤1)	205,479	36,787	197	60 (内現場職員28)

6 大阪の木材産業の現状

1 木材価格の推移 (府みどり・都市環境室調べ)

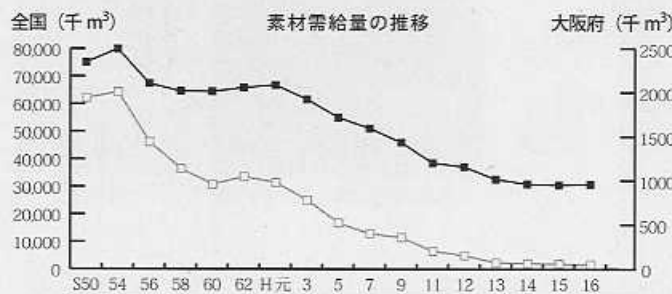
- 府内産スギの平成17年価格は、全国平均とほぼ同額の12,500円で、平成8年と比較して0.4倍に下落
- 府内産ヒノキの平成17年価格は、平成14年水準の4万円、平成8年と比べると0.45倍に下落し、全国平均との価格差も3万5千円から1万5千円と府内産木材の価格下落が顕著



		H9	H11	H13	H15	H17
全国	▲ スギ	21,100	18,800	15,700	14,300	12,400
	■ ヒノキ	49,100	42,400	37,800	31,600	25,500
大阪	△ スギ	25,600	17,500	11,300	18,000	12,500
	□ ヒノキ	71,100	43,500	32,800	38,600	40,000

2 素材需給量の推移 (府みどり・都市環境室調べ)

- 素材需給量は、全国、府内とも近年漸減傾向で推移
- 減少要因は、木材原産国の原木輸出規制に伴う製品輸入増加のため



	S50	S56	S60	H元	H5	H9	H12	H14	H16
全国	75,063	67,338	64,477	66,777	55,021	45,984	37,099	30,902	30,855
大阪府	1,938	1,437	959	977	518	354	150	62	49

3 外材入荷量 (原木) の推移

(平成17年度第2回大阪府木材流通対策協議会資料)

- 昭和40年代は、年間200万m³前後で推移していたものの、昭和50年代以降の原木輸出規制に伴い急激に減少
- 平成10年は両港で40万m³であったが、平成17年は約20万m³と最盛期の1/10にまで減少

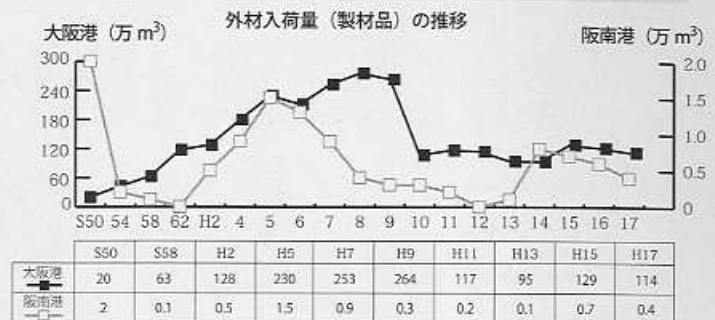


	S50	S58	H2	H5	H7	H9	H11	H13	H15	H17
大阪港	171	146	107	58	34	24	16	7	0.2	0.2
阪南港	70	46	40	36	26	29	21	18	14	17

4 外材入荷量 (製材品) の推移

(平成17年度第2回大阪府木材流通対策協議会資料)

- 昭和50年代の製品輸入の本格化に伴い、大阪港の製材品入荷が増加。平成8年の276万m³をピークに減少に転じ、近年は120万m³前後で推移
- 阪南港の製材品入荷量は、昭和50年から近年まで2万m³以下で推移



	S50	S58	H2	H5	H7	H9	H11	H13	H15	H17
大阪港	20	63	128	230	253	264	117	95	129	114
阪南港	2	0.1	0.5	1.5	0.9	0.3	0.2	0.1	0.7	0.4

5 木材需給量の推移 (府みどり・都市環境室調べ)

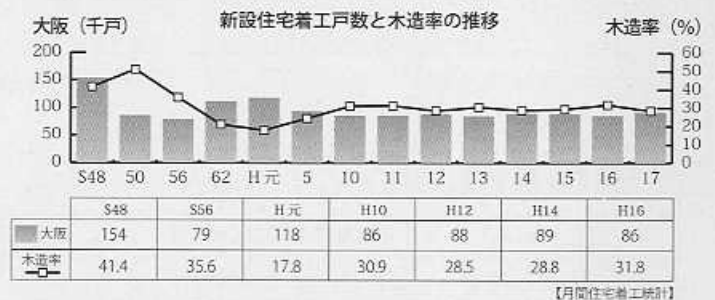
- 需給量49千m³の内訳は、外材が41千m³、他府県産材が5千m³、府内産材が3千m³で、木材の自給率は6%



6 府内の新設木造住宅数と木造率の推移

(府みどり・都市環境室調べ)

- 近年の新設住宅着工戸数は、平成8年の121千戸をピークに減少に転じ、平成17年は、平成16年に比べ6,294戸増加の92,271戸であったが、木造率は3.3ポイント減少の28.5%



	S48	S56	H元	H10	H12	H14	H16
大阪	154	79	118	86	88	89	86
木造率	41.4	35.6	17.8	30.9	28.5	28.8	31.8

【月間住宅着工統計】

7 公共事業における木材利用量の推移

(府みどり・都市環境室調べ)

- 「大阪府木材利用推進指針」の木材利用量(H19年度末)は、1,700m³
- 1,700m³は、間伐率20%の森林、約100haから発生する間伐材積に相当



	H12	H13	H14	H15	H16	H17
その他(他部署)	1	3	0	0	17	61
都市整備部	169	121	127	134	161	248
環境農林水産部	1,337	1,009	1,307	1,467	1,474	1,337

8 (社) 大阪府木材連合会の概要 (平成 18 年 4 月現在)

■ 沿革

- ・昭和 37 年 1 月 25 日 大阪府木材組合連合会 設立
- ・昭和 56 年 4 月 1 日 社団法人大阪府木材連合会に組織名称変更承

■ 組織

- 【会員】正会員 23 団体 賛助会員 124 社 (平成 18 年 3 月末)
 【役員】理事 22 名 (うち会長 1 名、副会長 7 名、専務理事 1 名、常務理事 1 名) 監事 2 名
 【事務所】大阪市西区新町 3 丁目 6 番 9 号 大阪木材会館内



林業労働力確保支援センターの担い手研修

主な業務

- ①木材利用の促進
 - ・木材展示会の開催 / 研修会の開催 / パンフレット等の配布 / 製材品の J A S 検査 / 合法性木材の認定
- ②相談業務
 - ・木材の相談 / 農林漁業信用基金に係る相談
- ③その他各種の共済制度の普及

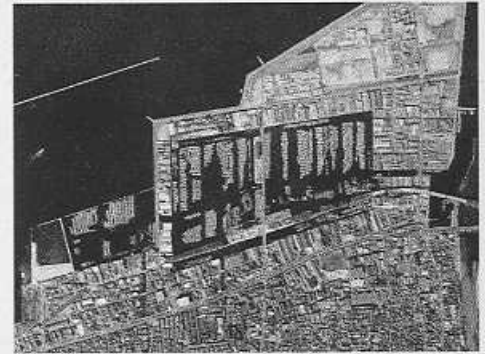
関連業務

- 大阪府林業労働力確保支援センター
 - ・林業就業希望者に対する相談 / 林業事業主等に対する雇用改善の指導 / 林業体験、研修等の開催 / 緑の雇用担い手育成対策事業に係る業務等
- 林業・木材製造業労働災害防止協会大阪府支部
 - ・技能講習、特別教育等の開催 / 安全巡回指導の実施 / 林業リスクアセスメントの普及定着 / チェーンソー等の振動障害予防対策

9 大阪の木材産業の概要 (平成 18 年 4 月現在)

1 木材需給の概要

- 本府は、大阪都市圏を中心とした旺盛な住宅需要を背景に木材の一大消費地であるとともに、集散地、中継地的市場としての性格が強く、全国の木材の流通拠点として発達し、木材流通部門の全国シェアは、東京都に次いで高い水準となっている。
- 素材需要量は、昭和 48 年のピークを境に二度にわたるオイルショックなどの影響により総体的に減少傾向にある。
- 供給面では、素材需要の約 8 割 (平成 15 年次) を外材に依存しており、港湾を中心に配した加工流通体制が構築されているものの、木材輸出の丸太輸出規制による原木取扱量の減少に伴い、水面貯木場の余剰が増加している。



大阪木材コンビナート (岸和田市・忠岡町)

2 木材産業

- 府下の木材産業は、主に港湾部の貯木施設を中心に外材専門大型製材工場及び普通合板工場並びに内陸部に立地する特殊合板工場をはじめとする二次加工工場及び地域内供給を目的とする質挽製材工場、またそれらに関連する木材流通業等の木材産業に大きく分類される。
- 平成 16 年時点の工場数は、製材工場 76 工場、合板工場 19 工場 (「単板のみ」の工場は 1 工場、「普通合板のみ」は 1 工場、「普通合板と特殊合板」は 0 工場、「特殊合板」は 17 工場) である。

3 木材産業拠点の概要

団地名	大阪木材コンビナート	大阪港平林団地	大阪木材工場団地	大阪銘木団地	
タイプ	臨海型 (生産基地)	臨海型 (総合基地)	内陸型 (加工基地)	内陸型 (銘木専門基地)	
所在地	岸和田市、忠岡町	大阪市住之江区	堺市美原区	摂津市	
造成地	目的	防災及び木材需給の安定並びに木材産業の振興	戦災復興事業の一環として市土地区画整理事業 (大正区小林町から集団移転)	需給の急激な拡大に対応するための企業体質の改善、設備の近代化協業	
	事業主体	府環境農林水産部 (港湾施設は、都市整備部)	大阪市	大阪木材工場団地協同組合	
	年度	昭和 38 ~ 43 年度	昭和 29 ~ 38 年度	昭和 39 ~ 45 年度	昭和 39 ~ 46 年度
	供用開始	昭和 41 年度	昭和 32 年度	昭和 42 年度	昭和 41 年度
企業用地の規模 (造成地面積)	83ha (131ha)	72ha (141ha)	26ha (50ha)	8ha (8ha)	
企業用地以外の主な土地利用 (施設)	木材整理場 18ha 水面貯木場 73ha	木材整理場 42ha 水面貯木場 83ha	共同施設用地 6ha	銘木市場 1.5ha	
運営 (自治) 機関	名称 (社) 大阪木材コンビナート協会 会員数 122	平林会 会員数 170	大阪木材工場団地協同組合 組合員数 51	大阪銘木団地共同組合 組合員数 63	

ハローワークの 農林業等 就職相談コーナー

あなたの農林漁業への就職を

ハローワークが応援します！

1. 全国の求人情報を提供
2. 農林漁業に関する相談と紹介
3. 関連団体からの案内を展示
4. 研修・体験制度等の情報提供

全国の
求人情報
提供！

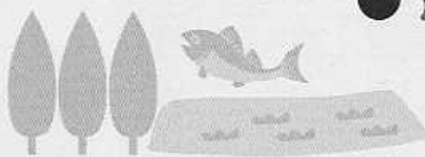
インターネットが使える方は…

<http://www.aff-job.go.jp/>へ今すぐアクセス♪

● メールマガジンの配信登録受付中!

● 農林漁業就業の為のノウハウ

● 農林漁業で働いている先輩の声



ハローワーク大阪西 (大阪西公共職業安定所)
農林業等就職相談コーナー・就農等支援コーナー
1階 9番窓口

ところ：大阪市港区南市岡 1-2-34

TEL：06-6582-5271

FAX：06-6581-5462

ホームページアドレス：

<http://osaka-rodo.go.jp/hw/nishi/>

ご利用時間：月曜日～金曜日（土・日・祝日休み）

8：30～17：15



7 地域の森林・林業の概要

1 豊能の森林・林業



1 地域の現状と課題

豊能地域は大阪府北西部に位置し、古くから交通の要衝として栄え、近代は大阪のベッドタウンとして発展してきた。地域の北～中部の林野率は56%と府平均31%の1.5倍で、人工林率は33%と府平均の47%より低い。地域の森林はかつて、薪炭の採取など地域の生活と密接に関係していたためアカマツやクヌギ、コナラ林を主とした里山林が多く、野生動植物の豊かさが特色である。

しかし、里山林の多くは近年の燃料革命などの影響で放置され、松枯れや藪状化等の荒廃が目立つとともに、ニホンジカによる林業被害が深刻となっている。このため、森林所有者等の林業に対する経営意欲を衰退させないためにも、その適切な対策が課題である。

■ 豊能地域の森林の状況(平成18年3月31日現在)

項目 区分	土地面積 (ha)	森林面積 (地域森林計画対象民有林+その他+国有林)		民有林面積 (地域森林計画対象民有林+その他)		
		面積(ha)	林野率(%)	面積(ha)	人工林面積(ha) (人工林率%)	保安林面積(ha) (保安林率%)
豊能地域	23,938	13,393	56	12,826	4,261(33%)	2,967(23%)
大阪府域	189,431	58,195	31	57,097	27,035(47%)	15,266(27%)

